

産業社会と企業 ⑦ 中世の西ヨーロッパ：封建制

【テーマ】

封建制：古代奴隷制が終焉し、市場経済が誕生するまで、約 1000 年間

- ①なぜ奴隷制は滅び、西欧に封建制が成立したのか？
- ②封建制とはなにか？市場経済への道においてどのような意味があったのか？
- ③封建制はどのように変化していくのか？

【0】はじめに—ヨーロッパ封建社会の形成

- 476 西ローマ帝国滅亡
- 481 メロヴィング朝創設
- 711 イスラームのリベリア半島侵入
- 800 カール戴冠
- 843 カロリング帝国三分割

【1】奴隷制の衰退

(1) 奴隷制の衰退

(2) 西欧の地理的有利性

【2】封建社会の特質：領主制とレーエン制

レーエン制：領主間の法的主従関係⇒割拠的な政治的独立性

領主制：強度な自給自足的完結性・自立性

(1) レーエン制

(2) 領主の自立性

①民事・刑事裁判権／②一般的徴税権／③経済的秩序維持にかんする諸権

(3) 農業技術の革新

【3】商業の復活とその影響

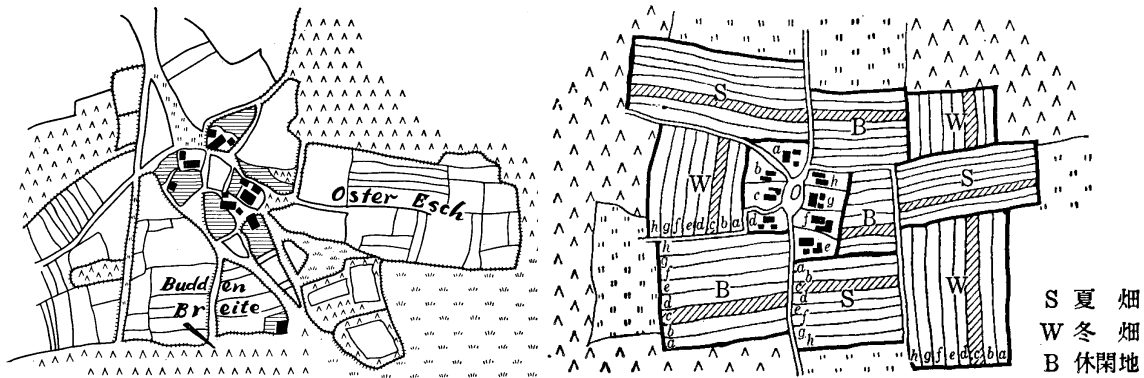
(1) 商業の復活

(2) 商業の復活の影響

【4】封建制の意義

※関連文献

- ①弓削達『ローマはなぜ亡んだか』講談社現代新書（1989）
 - ・経済史にも注目しつつローマの滅亡要因を説明したもの
- ②石坂昭雄ほか『西洋経済史』新版、有斐閣（1985）
 - ・封建制についても詳しい説明のなされたテキスト
- ③堀米庸三『中世の森の中で』河出文庫（1991）
 - ・生活史に重点を置いたもの
- ④増田義郎『ヨーロッパとは何か』岩波新書（1967）
 - ・「ドイツとは」、「フランスとは」……ではなく「ヨーロッパとは？」を考えるにはローマ帝国の崩壊からフランク王国成立までを明らかにすることが必須、という観点からヨーロッパの特色を考察している
- ⑤大塚久雄『近代欧州経済史入門』講談社学術文庫（1996）
 - ・封建制崩壊の内的要因と外的要因との双方がバランスよく論じられている
- ⑥玉木俊明『近代ヨーロッパの誕生—オランダからイギリスへ』講談社選書メチエ（2009）
 - ・バルト海貿易に注目して商業の復活を描いたもの
- ⑦山田真哉（2009）『世界一感動する会計の本です』日本実業出版社
 - ・現在も企業が用いている複式簿記は中世後半に西欧で発展した。わたしたちの小遣い帳（単式簿記）と何が違うのかがよく分かる入門書。

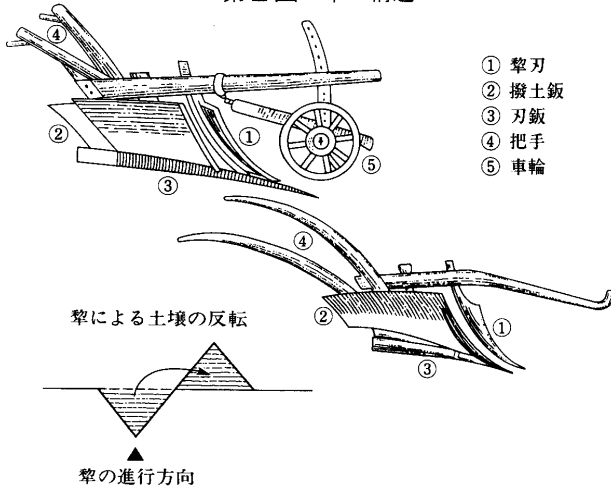


ゲルマンの原初村落の一例 ↑
(Nahne 村)

三圃農法をとる密集村落の類型図

増田四郎『ヨーロッパとは何か』岩波新書、1967年

第2図 犁の構造



資料 Science Museum, London所蔵のPloughsおよびE. Kerridge,
The Farmers of Old England 1973, P.38.

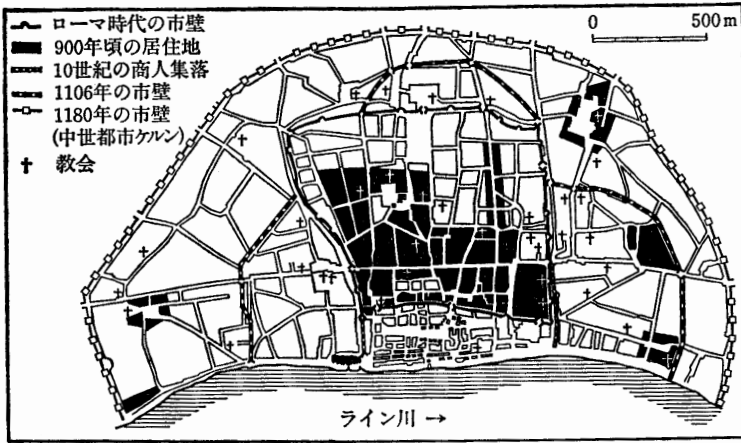
表7-2 ハウデン郡の職業分化 (1379年)

職種*	村名	ハウデン村	ハイズ村	イストリントン村
農	民	82	42	45
奉	公	72	58	13
日	雇	41	16	14
醸	造	27	12	12
下	人	23		
漁	夫	23		
靴	屋	13		
肉	屋	11		
石	屋	8	4	
鍛	冶	8	4	
フランクリン		7		
大	工	6		
仕	立	9		
毛	織	5		
織	布	5	10	9
行	商		22	6
パ	人		4	
裁	縫		3	6
商	人			5
そ	の	62	29	16
計		402	204	124

(出典) 船山栄一『イギリスにおける経済構成の転換』
未来社、1967年。

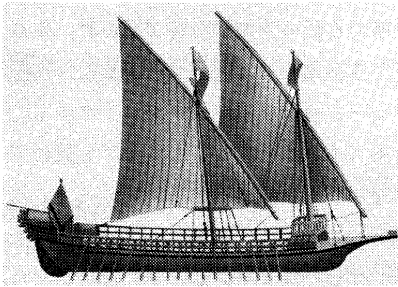
* 各村の職種数はつぎのとおり ハウデン村 約31職
種 ハイズ村 約16職種 イストリントン村 約
18職種

図 中世都市ケルンの成立過程

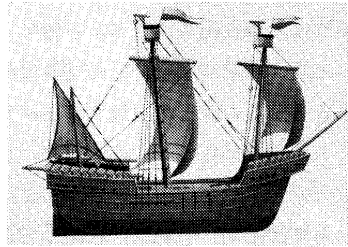


石坂昭雄・船山栄一・宮野啓
二・諸田実
『新版 西洋経済史』
有斐閣、1985年

図 地中海のガレー船と北海・バルト海のハンザ船



(注) ガレー船
長さ 48m 幅 6.8m
喫水 2.4m 排水量 210t
十字軍の時代から18世紀まで使用されたが、
15/16世紀が最盛期。



ハンザ船
長さ 28.8m 幅 8m
喫水 船首 2.5m 船尾 2.8m
排水量 270t
13/14世紀から現れ、15/16世紀が最盛期。

図 中世末の中央ヨーロッパの経済地図

